

第 16 号

〈西方文化祭特集号〉

発行日 令和6年3月11日
発行 栃木市西方文化協会
編集委員長 荒川 里子
印刷所 (有)正栄社印刷所



小倉堰と日光連山

巻頭言



西方文化協会会長 荒川 里子

令和五年四月十八日、第四十六回 栃木市西方文化協会総会を西方地域 づくり推進課長 中田治彦様並びに西 方公民館長 出井利幸様のご出席を頂 き開催。

コロナ禍三年半、そして五月より 五類移行となり、本年度はコロナ禍 の教訓を活かしつつ新たな文化活動 を計画し意欲と希望につながるス タートとなりました。

★市内文化施設見学

令和五年六月二十八日(水)岡田 記念館、翁鳥別邸↓栃木市立文学館 ↓昼食(いっちょよう)↓岩下の新生 姜ミュージアム。梅雨の季節では あったが、参加者の「笑顔」の力で 全行程を楽しく、かつ、学びのある 大変有意義な施設見学を四年ぶりに 実施できました。

★第十二回栃木市西方文化祭

十一月十一日〜十二日 西方文化 協会のメインイベントである文化祭 「安心・安全」をモットーに展示部 門に小・中学校の作品展示を四年ぶ りに開催。会員の皆さんが意をひと つにした文化祭を盛大に開催するこ とが出来ました。また、昨年同様カ ラー版のパンフレット(入場券案内 含む)を作成し西方・都賀地域限定 で全戸配布し、案内を行いました。

★作品展示

関東ホーチキにしかた体育館ロ ビー及び二階研修室において展示。 工夫を凝らした展示会場に各分野の 力作がはなやかに並んだ素晴らしい 作品展示でした。また、当施設職員 のご協力を得て二階研修室に小中学 校の習字、絵画の見事な作品が並び、 来場者を感心させていました。

今後も地域で子供たちの成長を応 援する意味で継続したいと思えます。

★ステージ部門 十一月十一日(土)

オーブニングは昨年に続き西方中 Brassバンド部がはなやかな照明の 中、生き生きとした演奏で発表。

続いて、八団体の演奏、ダンス、 合唱が次々と発表され、観客を楽し ませていました。そして、出演者の 一人ひとりが発表できた充実感で生 き生きと輝いて見えました。また、 これらの経験がさらなる技術向上に つながる大変貴重な場となりました。

★記念公演

津軽三味線 棚瀬敬太コンサート

当協会は「質の高い文化芸術」を 提供する目的で記念公演を開催。本 年度は令和五年「第十五回全日本津 軽三味線競技会」において優勝に輝 いた津軽三味線奏者 棚瀬敬太氏をお 迎えしてコンサートを開催。「津軽 よされ節」より演奏スタート。栃木 県民謡メドレー、「情熱大陸」、「津 軽あいや節」、「千本桜」などの楽曲 を披露。

凜と張りつめた会場に津軽三味線 のバチから奏でられる迫力ある演奏

が響き渡りました。曲の間には津 軽三味線の特徴や一曲ごとの分かり やすい説明、そして自身の活動状況 当をユーモラスに話されました。力 強い演奏と共に笑いあふれるトーク でも楽しんだ記念公演でした。 ※十一月十一日(土)〜十二日(日) 来場者数(延べ人数) 五百三十四名

今年度の文化協会役員

〔本部役員〕

会 長 荒川 里子

副会長 早乙女壽夫

副会長 和賀井公子

監事 神永 晴美

監事 石川 敦子

事務局長 中村 良一

会 計 山中登喜子

庶 務 金子 一男

〔理事・各専門部〕(五十音順)

理 事(アルモニカ・ハーモニ) 荒川 里子

〃(囲碁) 大森 明

〃(カッパコール) 田嶋 亘

〃(ギターアンサンブル) 小林 祥二

〃(Greenぐらす) 神永 晴美

〃(ぐりふら) 神永 晴美

〃(茶道) 樽見美智子

〃(月見会) 穂本 マス

〃(西方オカリナクラブ) 和賀井公子

〃(にしかた等の会) 荒川 里子

〃(西方ふるさと太鼓) 荒川 里子

〃(西方フォークダンスの会) 渡辺 勝子

〃(ハンドメイド) 山中登喜子

〃(フォトクラブ) 早乙女壽夫

〃(墨彩会) 中村 良一

〃(若菜会) 若林 きく



●● 専門部活動紹介 ●●

アルモニカ・ハーモニ

私たちのグループは平成十六年に結成され、本年度二十年を迎えました。丁度二十年となりますと、ある意味何か特別な年を迎えたなどの感じがあります。私たちにとってはこのような年の文化祭の舞台となりましたので、張り切っていこうと意気込みました。が、結局最初の音が緊張してしまっただけで、音が出せず、自分なりに満足のいく演奏はできませんでした。その他は、ここ数年前まであった老人施設等の訪問チャンスがコロナ禍で本年もなくなり、その面では残念であったと思います。また、そのような特別活動をしたいたいの考えも当然頭に浮かばず、少し寂しい特別な年となった次第です。

このところ、コロナもようやく落ち着いてきました。そのようなことから今後練習も十分にできると思うし、また、施設等からのご希望があることも期待ができ、そのようなことがあれば積極的に出向いて行きたいと思えます。いずれにしても、もっと自信をもって演奏できるようにすることが大切だと思いました。

私を、今のメンバーに加えていたから五年になりました。ハーモニカは子供の頃に触れて音を出したくらの記憶はありますが、殆ど

経験がないのと同じです。そのような私でも、入会当初から諸先輩に親切にして頂きました。お陰様で現在では何とか諸先輩の後に付いていけるところまでできたかなと思っております。



囲碁部

囲碁は四千年以上の歴史があり、地球上で一番古いゲームといわれています。囲碁が日本にきた時代ははっきりしませんが、奈良時代には盛んに打たれた記録が残っていて、当時の碁盤や碁石が保存されているそうです。

西方の囲碁は、戦後、上田市で碁会所を開いていた方が本城の斉藤先生宅に同居し、地域に広めました。その後、金崎の森下さんのお骨折りで日本棋院西方支部が発足し、会員

も三十名以上で盛んに碁が打たれたそうです。

しかし、部員の高齢化が進み会を維持できず、支部を閉じることになりました。

その後、西方を会場にして、都賀、壬生、鹿沼等の方々が集まり、毎週金曜日に碁会を開いていました。しかし、新型コロナウイルスの流行により栃木市内だけの交流になってしまいました。

碁は決まりごとが少なく、誰とも楽しめるゲームです。白と黒が戦い、より広く地を獲得した方が勝ちとなります。また石は囲まれた時、目が二ヶ所以上ないと取られてしまいます。碁が上達するには多くの対局をすることができました。

西方文化祭では体育館で朝から碁会を開きました。会員五名が二ヶ所の碁盤で総当たりで楽しく戦いました。午後には地元の方が参加し、楽しい一日を過ごすことができました。



カッパコール

カッパコールと聞いて、「ああ、西方町の男声合唱団だね」と、即思い浮かべてくれる人は、いったい何人ぐらいいるでしょう。せめて、「そういういえば、西方の文化祭でおもしろい話をしながら歌っていたおじさんたちが確かそんな名前だったわね」ぐらいのあいまいな記憶でも大感激です。私たちの存在をぜひ知ってください。そしてぜひ、私たちの歌声を聞いてみてください。さらにぜひ、あなたも歌ってみませんか。カラオケとはちよつと違う、爽やかな気分を味わうことができるんです。ハーモニカーなんて言葉がよく使われますが、声が重なって、響きが重なって、心が震える瞬間があるんです。聞く機会、歌う機会、練習する機会、感動する機会等、機会を欲してください。ぜひ、見学にいらしてください。私たちは、主に金曜日の夜に集まっています。

歌うメンバーが増えてくれることを日々願っています。歌好きの男性、一緒に楽しみましょう!!





GreenUp

「いのちの歌」を初めて歌った時、歌詞に感動して涙が込み上げてきて、歌えなくなった。

歌は不思議なものです。何十年も前の思い出が蘇ってきたり、心高鳴って踊りたくなったり…。

私たちGreenUpぐらすは、今年結成して二十年になります。歌が好きで集まった仲間と、二十年も一緒に歌い続けてるなんて、結成した頃思ってもいなかった。二十年って長いのにあつという間でした。曲のレパートリーもどんどん増え、色々な思いを感じながら楽しく歌っています。

これも私達を奮い立たせ、とても楽しくご指導してくださる川島先生のお蔭です。ありがとうございます。感謝しています。

十年後、二十年後、腰が曲がって杖をついても、皆で楽しく歌っていたいですね。

来年三月に、二十周年記念コンサートを栃木文化会館の小ホールで開催する予定です、今、練習の真っ只中です。

ご興味のある方は、是非足をお運び下さい。お待ちしております。



ぐりぐら

私達、ぐりぐらは毎週月曜日二十一時から素敵な仲間と練習しています。

フラダンスの一番の魅力は「誰でも踊りやすい」ことです。観て楽しむだけでなく、リズムにのせてゆったりと踊るうちに、心も身体もほぐれていきます。たえず身体を動かすため実はとても運動量の多い踊りです。心がリラックス出来るだけでなくシェイプアップ効果も期待しながら踊っています。



文化祭などの発表会の場に向けて、繰り返し練習しています。発表会近くになり、色とりどりの衣裳や花かざりを身につけると、気持ちには南国ムードになり引き締まってきます。お客様の前で踊ることは緊張し間違ってしまうこともありまますが、踊った



茶道部

後は、充実感もあり楽しい時間でした。皆様の前で踊れることに感謝しております。



私たちは日本の伝統文化の一つである、茶道を稽古しています。茶の湯はたいへん間口の広い文化です。机に例えれば「引き出し」が多く、多彩な楽しみが詰まっています。おいしい和菓子、美しい漆芸や陶器を使って点前をしたり、床にかけられた軸からは読めないけれど感動を覚えたりと。煩雑でややこしく見える所作も、それぞれに意味があり単純でもあります。また、茶道は季節を大切にし、たくさんのお菓子をそれに感じながらの稽古はとても充実した時間です。

令和五年西方文化祭の茶席は、例年通りお二人の先生が和の室礼、道具組を準備されて皆様をお迎えしました。お菓子はこの日のために、町内のお菓子屋さんに特別に作っていただきました。たくさんの方々にお茶を飲んでいただいて、午前中で用意したお菓子がすべて終わってしまいました。お客様からは「初めて飲

んだけど、おいしかった。」「飲み方を教えて!」「ちよつと緊張して飲んだけど、お菓子と合うね。」「お抹茶は家で飲まないけど、本当に美味しかったよ」とうれしい感想をたくさんいただきました。



西方オカリナクラブ

楽しいオカリナクラブ

四月に入部してから初めてのステージが、十月二十九日、道の駅での「軽トラショー」でした。ワクワクドキドキで始まり、五曲が終わってアンコールの拍手をいただき、プロになった気分がとても嬉しかったです。けれど、最後の曲はご期待に添えず、練習不足が災いしてか拙い演奏になってしまいい残念だけれど、皆一丸となって力の限り頑張ったと思う。それから退場後は、スポーツで戦った後のような言い知れぬ爽快感に浸ることができた。そんな気持ちにさせてくれる音楽はとても素晴らしい。『オカリナバンザイ!!』



十一月の文化祭は練習を積んだお陰で、さらにパワーアップして皆落ち着いて演奏ができたと思う。聞きに来て下さった方々、本当にありがとうございました。

これからやがて各地区にオカリナクラブができて、県大会などで演奏を競い合うコンクールに出場を目指して行くのも面白い。

さて来年はどんな曲に挑戦して行くのか今から楽しみだ。



### にしかた箏の会

本箏の二分の一の小さな箏「文化箏」は、本箏と同じ素材でできていて、技法も同じです。毎年、レベルアップした演奏を披露できるように心がけています。今年も四季をメロディーで楽しんでいただける曲を選んでものの、平調子を基本に曲の途中で二度調子を変えろという難しい技法に悪戦苦闘。本番前何度も調弦を確認し、臨んだステージ。発表の機

会を頂けた喜びと同時に高まる緊張感。メンバー全員で息を合わせ、楽しもうと思いつながらの必死の演奏でした。それでも、終わってみれば演奏できた喜びと会場の皆様からの心温まる拍手に感動しきり。次への意欲が湧いてきました。皆様にも、お箏の音色を楽しんでいただけたいでしょうか。今後も、たくさんの方にチャレンジし、楽しんでまいります。また、学校支援ボランティアにも積極的に参加し、文化箏の楽しさを子供たちに伝える活動も続けていきたいと思っております。



### 西方ふるさと太鼓

コロナの影響で様々な制限や困難を乗り越えてきましたが、今年はずいぶん緩和され、私たちがふるさと太鼓の会も数々の会場で演奏することができました。

長年続いている盲導犬チャリティコンサートや、西方文化祭、

中でも西方小学校創立一五〇周年記念式典のオープニングで、子どもたちの前で演奏できたことは、「和太鼓」は魅力的な楽器であるということとを表現できたのではないかと思います。

メンバー一同、今年も創作太鼓をつなぐことができた喜びと、これからも積極的に練習、発表に参加していきたいと、意気込みを感じる一年となりました。



### 西方町フォークダンスの会

コロナ禍終息とはいえ、まだまだ感染対策には気を配って(月三回月曜日)のレッスンを楽しんでます。今一番の課題は、どうしたら仲間を誘えるかです。高齢に伴い、ペアーを組むのも難しくなってきました。でも踊り出すと、とってもハッピーな気持ちになり元気にもなります。講師 安生忠男先生の、ユーモアたっぷりな指導にて、一同笑顔で体を動かしています。今はクリスマス会に向けて練習に励んでいます。私

事ですが会に入っては永いのですが、中々思う様に踊れず、躊躇しています。若い方々が面倒見良く教えてくれるので、月一回の自主練習の良さも味わっています。健康の為、友達作りの為にもフォークダンスの会が末永く存続する事を願っています。一度見学がてら来て、踊って見ませんか、楽しくなりますよ。お待ちしております。



### ハンドメイド

コロナ禍もさり、やっと通常の活動が出来るようになりましたが、ちよつと気が抜けて月に一度か二度の集まりになっていきます。自宅で作った作品を持ってきて、見せ合ったり作り方の説明をしたり、あつという間に時間が過ぎてしまします。同じ趣味を持った仲間が集まり、おしゃべりに花を咲かせる、とっても楽しい時間です。

作品に利用している素材は主に、紬、木綿の浴衣、絹の着物などです。リメイク作品にするまでの手順は、着物を用意し状態を見ながら丁寧にほいで、手洗いをし、半乾きの状態でアイロンをかけます。ほとんど反物状態にしてから、柄合わせ



をして、型紙を作り、いよいよカッ  
ト鋏を入れます。面倒な細かい手順  
ですが、出来上がった時の満足感、  
達成感は各部にも共通していると思  
います。

これからも、健康に気を付けて仲  
間を大切に楽しんでいきたいと思  
います。



### フォトクラブ

第十二回栃木市西方文化祭とし  
て、今年も無事終了することが出来  
ました。

今まで写真部として、長い間活動  
して来ましたが、時代の流れに沿っ  
て新たに、フォトクラブに改名しま  
した。今後も変わらぬ方針で活動し  
ていきます。

モデル撮影会で撮りためた力作を  
評価して楽しんでいます。今回の撮  
影会は四月二十九日で、作品発表が  
五月二十八日でした。食事をしなが  
ら、和気あいあいと腕前の自慢話を  
して、美人モデルさんを囲み終了し

ました。

また風景画は  
個々が記録画像  
を三点提出し  
て、四季折々の  
作品と、鳥・花・  
シャッターチャ  
ンスの力作を見  
ていただきまし  
た。

次年度につな  
げる気持ちで、  
気力・活力・体  
力を養って頑張  
りますので、新  
作を御期待くだ  
さい。会員を募  
集しております。  
是非よろしくお  
願います。



### 墨彩会

墨彩会では、水墨画・鉛筆画・焼  
き絵を、それぞれが四季豊かに移り  
変わるふるさとの風景、懐かしい古  
民家、庭先の美しい花などを、心を  
込めて描いております。

文化祭や企画展において、多くの  
人の目に触れたと思います。私たち  
の作品に出会った人が感動を受け止  
めていただくことが出来る絵になっ  
たら本物と感じ、これからも、楽し  
く人の心に残る絵を描いて行きたい  
です。

会では、会員を募集しております。

いつかやってみたいと思っ  
て、なかなか足が進まない。「まず  
一步」です。趣味で自分の新たな一  
面を発見するかもしれません。会員  
との交流によって、楽しい輪が広が  
ることを期待いたします。



### 若菜会

快晴の空から爽やかな陽光が注ぐ  
小春日和に、茶席を設えることが出  
来た。席主ならではの取り合わせと  
心づくしの一椀を皆様に味わって  
いただけたのなら嬉しい。

席主は季節のお花を飾ったり、お  
香で香りの演出をするなど細部にま  
で気を配り、お客様が心地よく過ご  
せる空間を演出。緊張していると楽  
しめなかつたかもしれないが、お抹  
茶とお菓子そして器（お茶碗など）  
の美しさを味わうことは茶席の魅力  
である。茶菓子は抹茶の味をより引  
き立てるために、お茶を召し上がる

前に頂く。お茶は三〜四回に分けて  
頂き、「飲み終わりました」の合図（美  
味しいお茶をありがとう）として、  
最後に音を立てて吸い切る。

茶道にはいくつかの決まり事があ  
るが、ポイントをつかみ慣れてしま  
えば、どれも難しい事ではないのだ。  
この度も「このお席に入れますか」  
「どうぞお入りください」こんなやり  
取りが何度かあった。気軽に楽しめ  
る空間なのに、敷居の高さを感じる  
のだろうか。リラククス！ リラッ  
クス！

今回は「喫茶去（きつさき）」な  
るお軸を心に刻み、おもてなしをし  
た。「喫茶去」は「お茶を一服いかが  
ですか」とか「どうぞお茶でも召し  
上げれ」と言う程度の意味に過ぎな  
いが、中国唐時代の有名な禅僧の趙  
州和尚のエピソードが元になった禅  
語。難しい禅語はわからないが、日  
常生活を忘れて、静かな空間でお茶  
を嗜みながら自分を見つめ直す。そ  
んなひと時を皆様にプレゼント出来  
たのなら嬉しい。

次回もど  
うぞお立ち  
寄りくださ  
いませ。お待  
ち申し上げ  
ております。





第12回栃木市西方文化祭記念公演

棚瀬敬太 津軽三味線コンサート



記念公演

津軽三味線 棚瀬敬太コンサート

荒川 里子

栃木県那須塩原市出身で、今年度の全日本津軽三味線競技大会において優勝。音大生からプロ奏者として活動。津軽三味線の特徴ある繊細なバチさばきのリズムから次第に力強いリズムの演奏に会場は拍手喝采。

当コンサートの十一月十二日で二十一歳の誕生日を迎えた棚瀬さんは、津軽三味線の代表曲「津軽じよんがら節」の合間に「ハッピーバースデートゥーユー」のメロディーを演奏。観客も一緒にうたい共に祝った。

津軽三味線の特徴や曲の解説、そして、演奏の合間にはユーモアたっぷりのトークが加わり、和やかな雰囲気の中、津軽三味線と奏者の魅力が感じられた大変心に残る素晴らしい記念公演だった。

ステージ部門

川島 博

朝からのさわやかな天候と西方の四季の移ろいを彷彿とさせるステージ後方のタペストリーを心強い味方にして、今年度も西方中プラスバンド部の演奏でスタートしたステージ部門。サククス・ドラムの刺激的なリズムに乗って、次々に心地よいメロディが館内に流れる。その響きに触発されるように、文化協会各団体の熱演が続く。ハーモニカ演奏に始まり、女声合唱、男声合唱、箏の演奏、そしてフラダンス、フォークダンス、

オカリナ演奏、最後は西方ふるさと太鼓で締められた。

天候にも恵まれ気持ちのよい地域イベントではあったが、今後ますます発表意欲に満ちた多方面にわたる発表団体が増えること。またステージ発表会場が一人でも多くの来場者で埋められていくことを願わずにはいられない。そして「わたしが光り みんなで輝く文化の息づくまちづくり」を目指して、互いに手を取り合って頑張っていきたい。

展示部門

早乙女 壽夫

令和五年度は、新型コロナウイルスが二類から五類に変更され、徐々に普通の生活にもどつつある年となりました。

今年の文化祭は、十一月十一日(土)、十二日(日)の二日間、盛大に開催され好評を博しました。展示部門では、墨彩会、フォトクラブ、ハンドメイド、囲碁、茶道・若菜会の五部門と、小中学生の作品の展示がありました。西方小五十三点、真名子小五点、西方中四十五点計一五三点が花を添えてくれました。



地域市民に、芸術文化の活動成果発表の場として観覧していただき、制作の意欲の向上に努めました。今後の会の発展のため全員一丸となって前進し活動して、文化人として心豊かな、魅力ある人生を送りたいと思います。

協会員も楽しく仲良く活動していただきますので、興味がある方は公民館へ連絡して加入していただけるよう、宜しくお願いします。

西方中プラスバンド部

今年も西方中プラスバンド部の皆さんが、文化祭に参加してくださいました。「オトナブルー」「可愛くてごめん」など、爽やかでそして息のあった素敵な演奏に、

会場の皆さんが引き込まれていました。

